

事後アンケート結果の考察

アンケート担当：星野知彦

アンケートは Google フォームを用いて実施した。アンケートのリンク先の QR コードを記載した用紙を対話会の終了時に配布すると、10 名の参加者が 5 分ほどでアンケートに回答してくれた。

対話会に参加した学生は全て高専 4 年生で、8 名が機械システム専攻と回答した（2 名無回答）。

基調講演（カーボンニュートラルとエネルギー安定供給について）については、報告書本編に記載の通り、対話会の時間が全体で 1 時間半と短く、そのうち基調講演には 20 分しか割くことができなかつたが、参加者 10 名全員が「とても満足」で事前にききたいと思っていたことを「十分聞くことができた」と回答していることから、有益な結果であった。

対話については、3 つのグループがそれぞれのテーマで実施したが、9 名が「とても満足」（1 名は無回答）、また 10 名全員が事前に対話したいと思っていたことを「十分対話出来た」「ある程度対話が出来た」と回答していることから、対話会についても有意義であったことが窺えた。

放射線・放射能に関する質問に対しては、有効性については全員が理解していると回答した。危険性についても概ね理解されているものの、2 名が「放射線、放射能は量(レベル)に関係なく怖い」と回答していることから、さらなる理解活動が必要と考える。

電源に関する質問のうち原子力発電については、10 人全員が再稼働推進、2030 年目標達成、新增設・リプレース推進など原子力発電の「必要性を認識」している。一方、再エネ発電についても 8 名が「利用拡大を進めるべき」答えており、全体的にはバランスのよい電源構成を志向しているとみられる。

一方、**カーボンニュートラルとエネルギー**に関する質問については、10 名全員が関心や興味を持っているものの、カーボンニュートラルの実現性や将来の電源の在り方については回答が分かれた。また、「分からない」の回答も一定の割合が見られた。本テーマについては国内外、産官学ともまだ議論の途にあり現時点では将来看通すことは難しいことから、学生には今後も関心、興味を持って取り組んでいただきたい（「再エネの技術」について講演テーマとして要望あり。）。

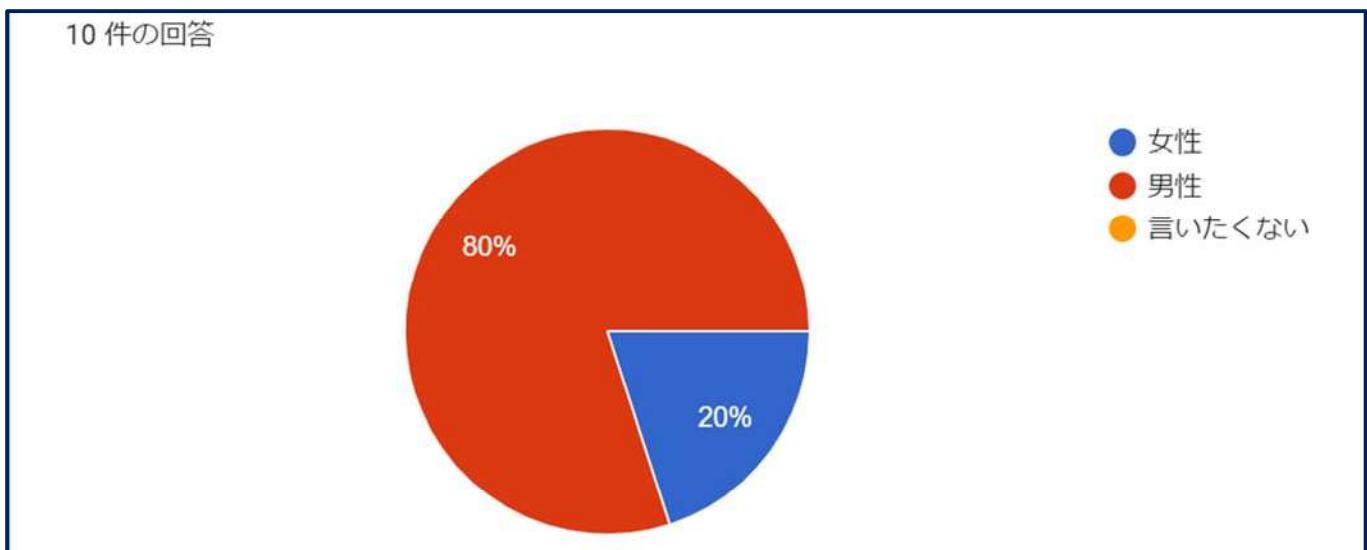
高レベル廃棄物最終処分に関する質問についても 10 名全員が関心・興味を「大いにある」「少しある」と答えた。「自分の住む地域や周辺で処分場の計画ができたらどうするか」の質問に対しては、半数の 5 名が「分からない」と回答していること、また、関心や興味のある項目として回答した 9 名全員が地層処分の「技術」と答えていることから、今後、地層処分の技術を丁寧に説明、対話することで技術系の学生の理解を深めていくことができるのではないかと考える（「具体的な処分方法」について講演テーマとして要望あり）。

「学生とシニアの対話」の必要性については、10 名全員が「非常にある」「ややある」と回答しており、また、10 名全員が「機会があれば友達や後輩に対話会への参加を勧めたいと思う」回答していることから、今後も学生の期待に応えるべく SNW として活動を継続していくことが望まれる。

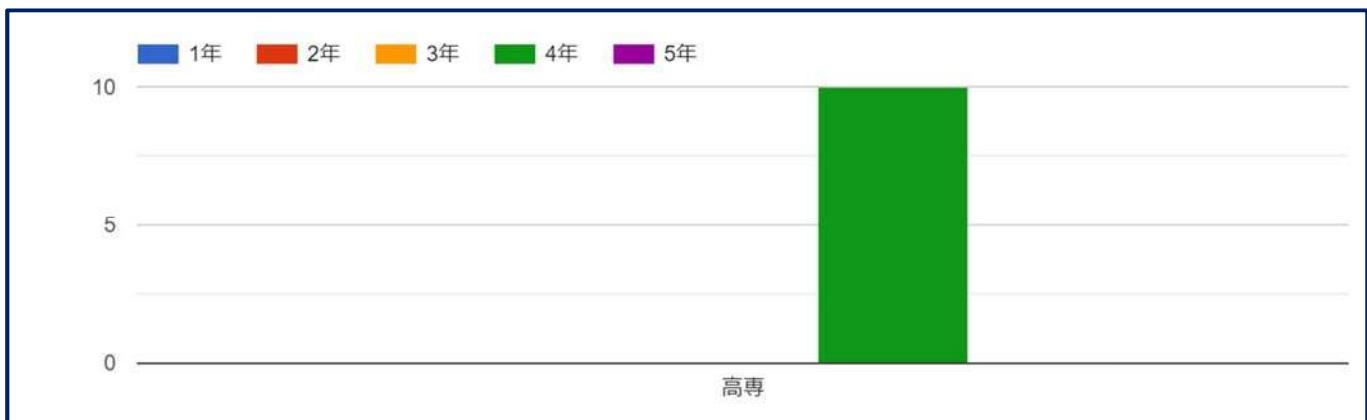
事後アンケート結果

回答数 10 件（回収率 100%）

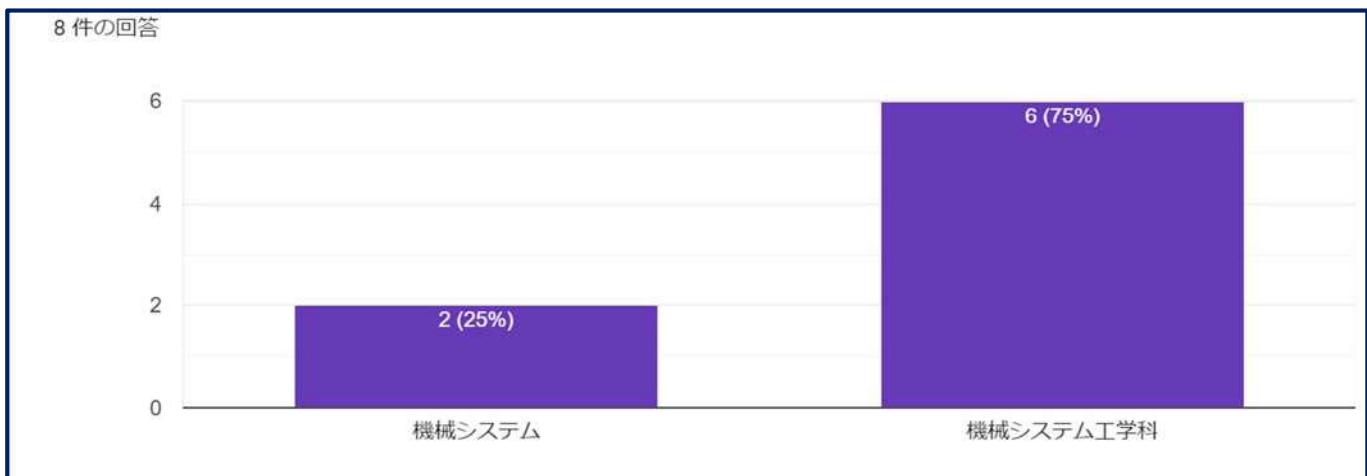
□ 先ず、あなた自身について 該当するものをチェックして下さい。



□ 該当する学年をチェックして下さい。



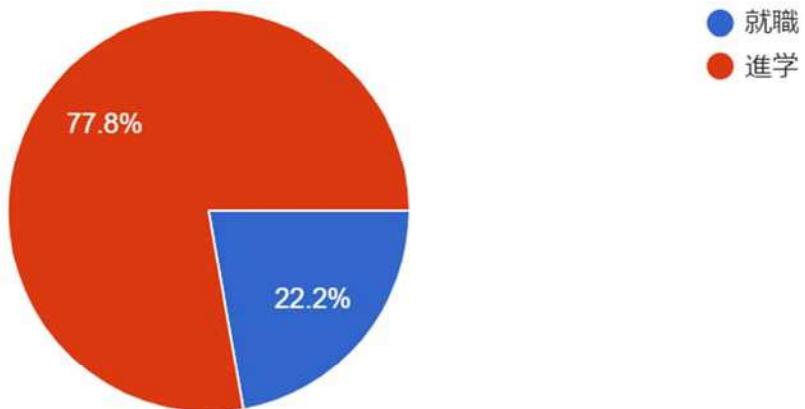
□ 専攻を記入して下さい。



※：記入者(8人)は全て機械システム工学科

□ 進路について伺います。該当するものをチェックし、分野、希望先を記入して下さい。

9 件の回答



分野・希望先（具体名は任意）

(就職) 生産技術開発／化学プラントの設計、機械設計

(進学) 原子力関係／進路を機械系から変更する予定／筑波大／材料系／機械・原子力系

材料系または鉄道に関するところ

(記載なし) 機械

I 講演・対話に関するアンケート

1. 講演について伺います。

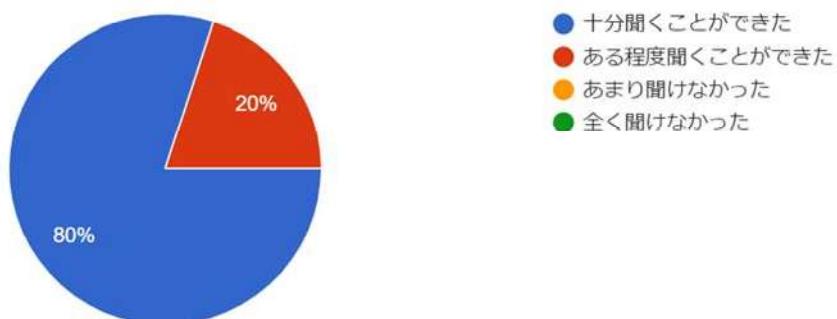
(1) 講演の内容は満足のいくものでしたか？

10 件の回答



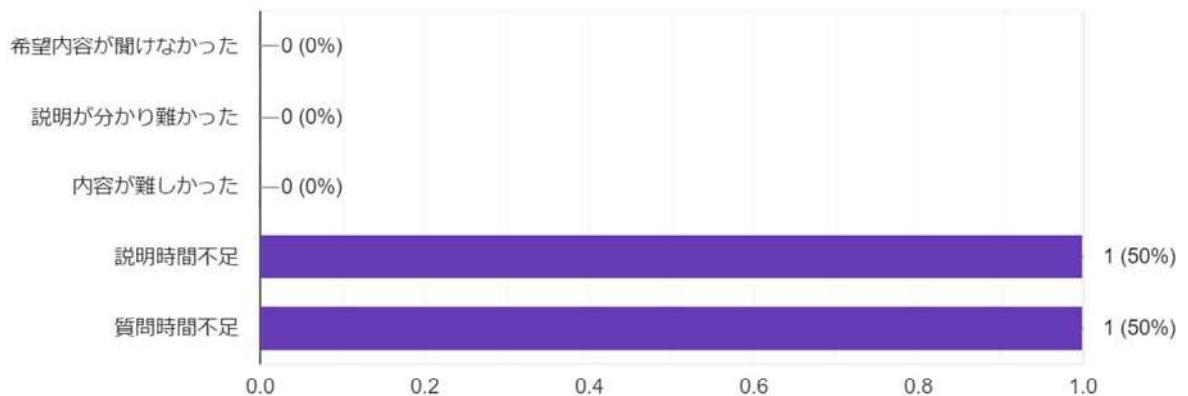
(2) 事前に聞きたいと思っていたことを聞けましたか？

10 件の回答



(3) やや不満、大いに不満／あまり聞けなかった、全く聞けなかった理由は？（複数回答可）

2 件の回答

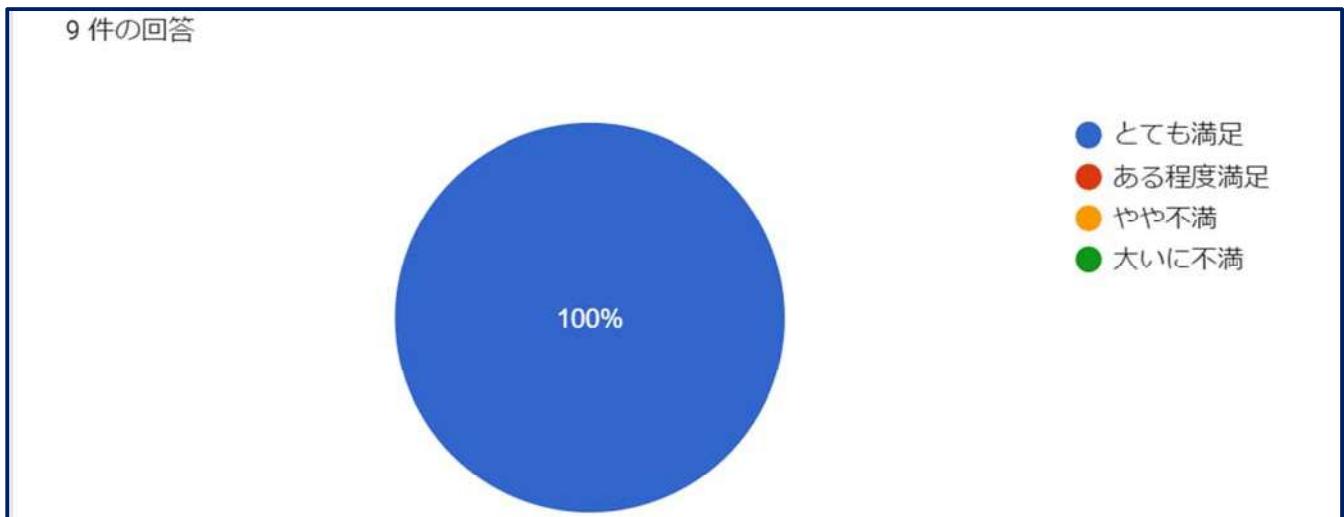


(4) 今回の講演内容以外で聞きたいテーマがありましたら自由に書いてください。

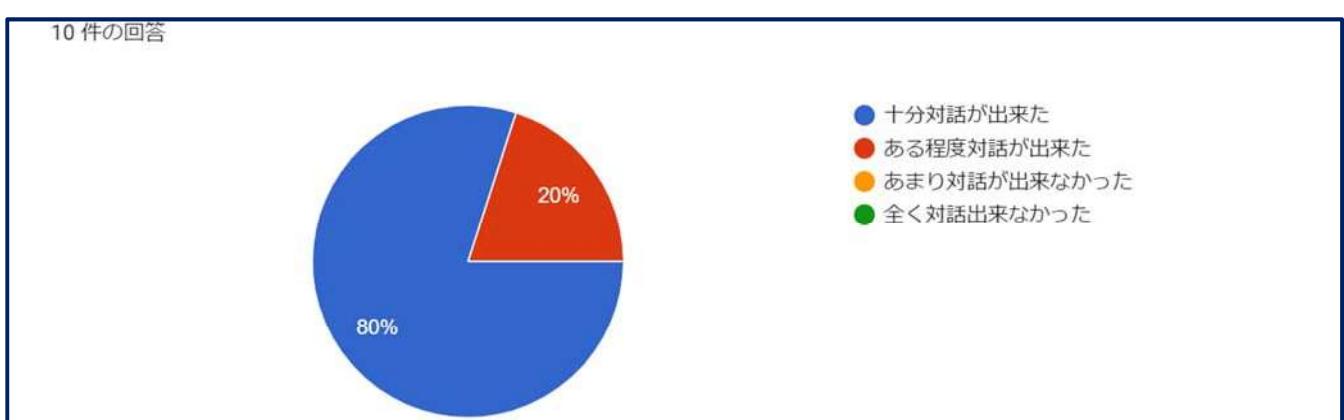
- ・ 廃止措置に関する技術的な問題点はあるのか
- ・ 放射線廃棄物の具体的な処分方法について
- ・ 再生エネルギーの技術について詳しく聞きたいと思いました。

2. 対話について伺います。

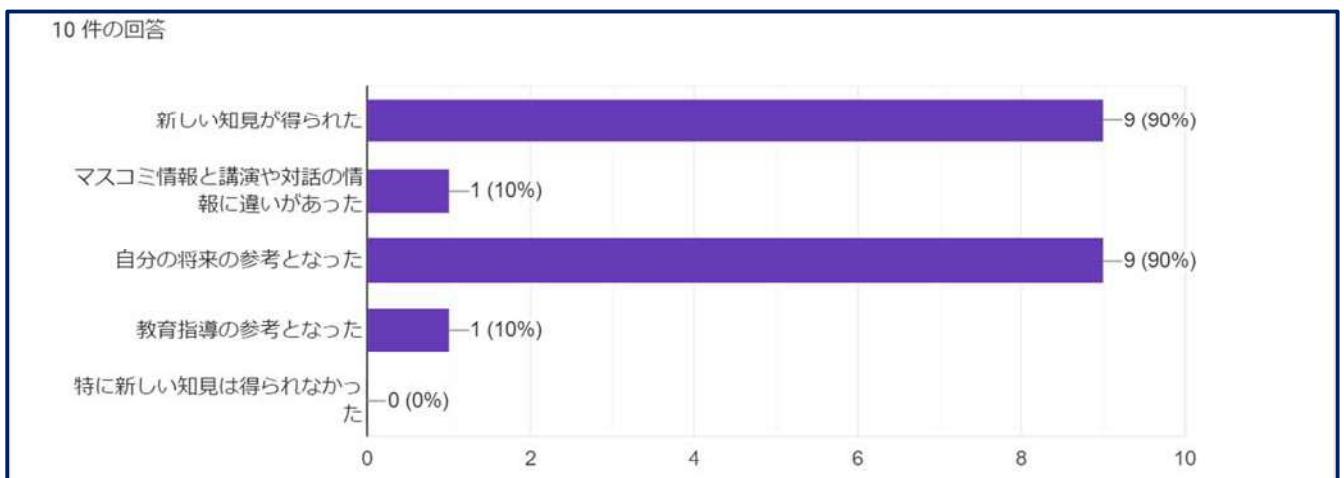
(1) 対話の内容は満足のいくものでしたか？



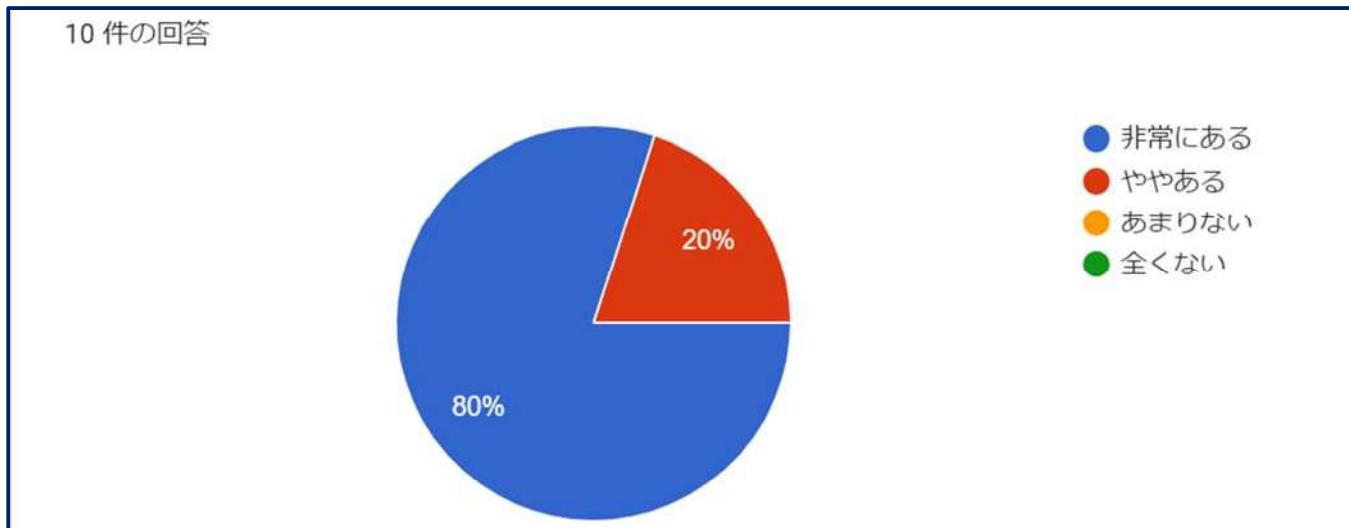
(2) 事前に対話したいと思っていたことは対話出来ましたか？



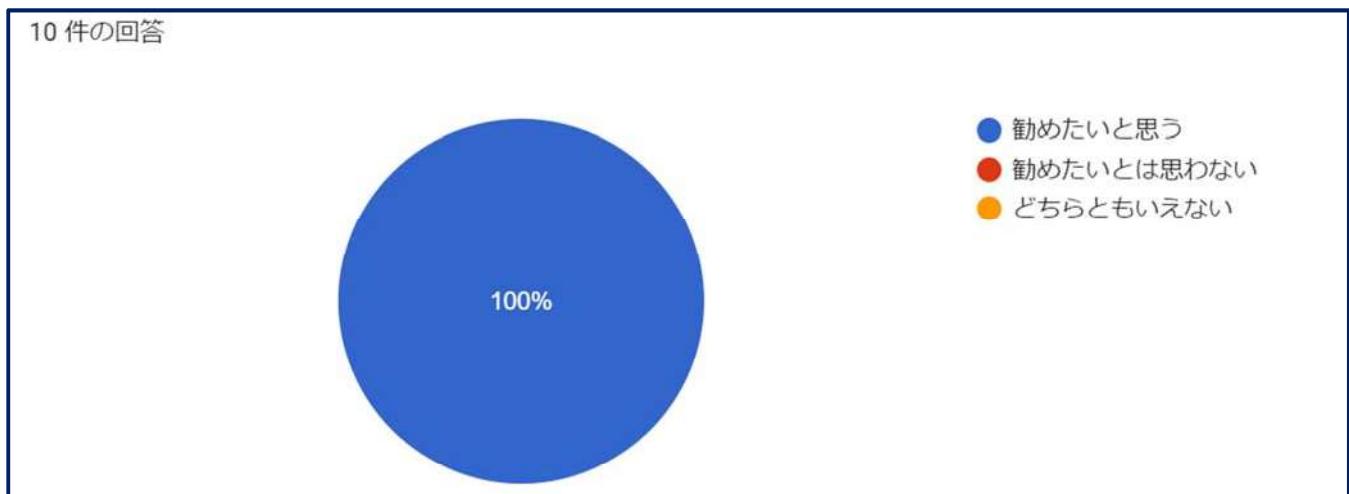
3. 今回の講演や対話で得られたことは何ですか？（複数回答可）



4. 「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？



5. 今後、機会があれば友達や後輩に対話会への参加を勧めたいと思いますか？

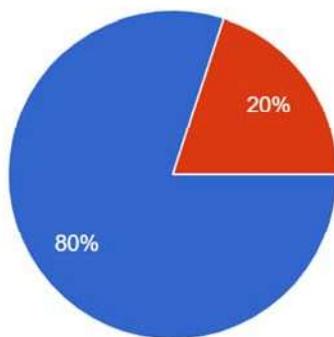


II 放射線・エネルギー・環境に関する意識調査

1. 放射線、放射能に対して伺います。あなたの考えに近い項目をチェックしてください。

(1) 放射線・放射能の危険性について伺います。

10 件の回答



- 放射線、放射能は日常的に浴びており、一定のレベルまでは恐れる必要はない
- 放射線、放射能は量(レベル)に関係なく怖い

(2) 放射線・放射能の生活における有用性について伺います。

10 件の回答

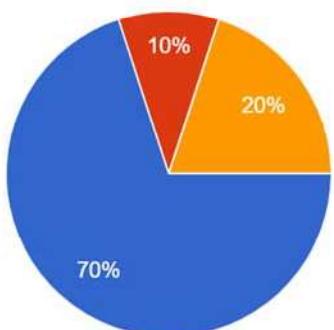


- 医療関係等で利用されており、生活に有用であることは知っている
- 生活に有用であることは知らない

2. 電源について伺います。あなたの考えに近い項目をチェックしてください。

(1) 原子力発電について伺います。

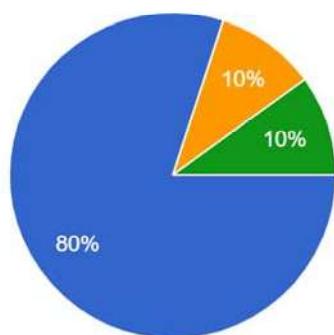
10 件の回答



- 必要性を認識しており、再稼働を進めるべき
- 必要性を認識しており、将来向け、新増設、リプレースを進めるべき
- 必要性を認識しており、2030年目標（原子力発電20～22%）を達成すべき
- 危険だから、早期に削減または撤退すべき
- 分からない

(2) 再エネ発電について伺います。

10 件の回答

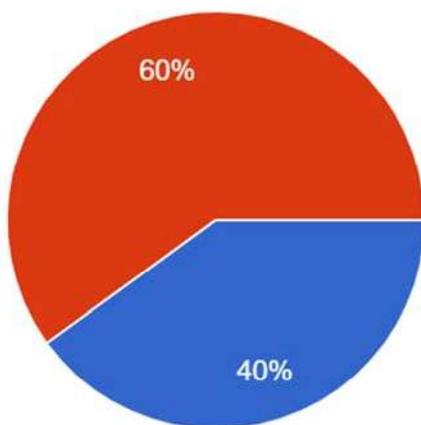


- 環境にやさしい電源であり、利用拡大を進めるべき
- 発電が天候に左右されるので、利用は抑制的にすべき
- 自然環境破壊につながるので、利用は抑制的にすべき
- 分からない

3. カーボンニュートラルとエネルギーについて伺います。あなたの考えに近い項目をチェックしてください。

(1) 地球温暖化や脱炭素社会の実現について関心や興味がありますか？

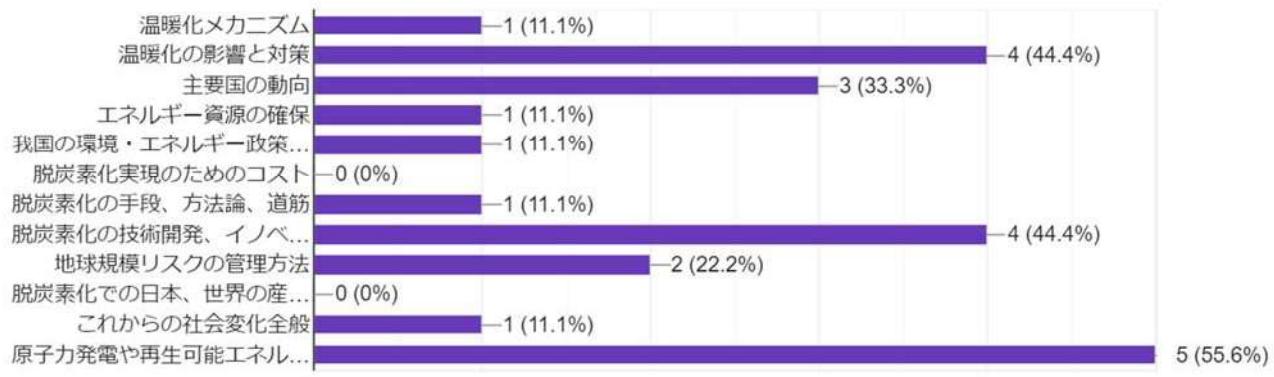
10 件の回答



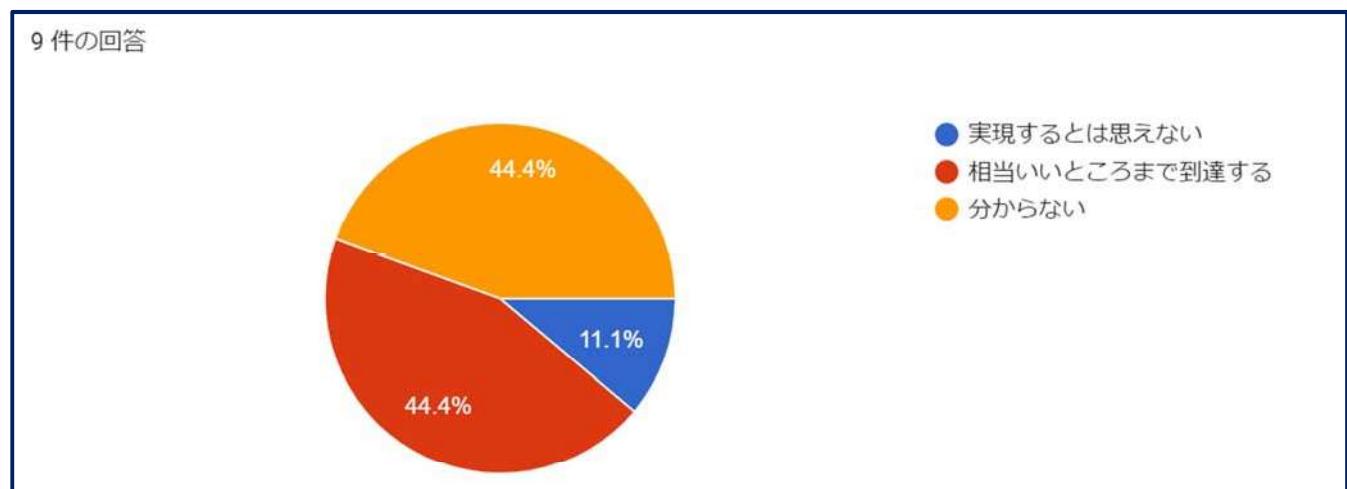
- 大いにある
- 少しある
- あまりない
- ない

(2) 興味や関心があるのはどの項目でしょうか？（複数回答可）

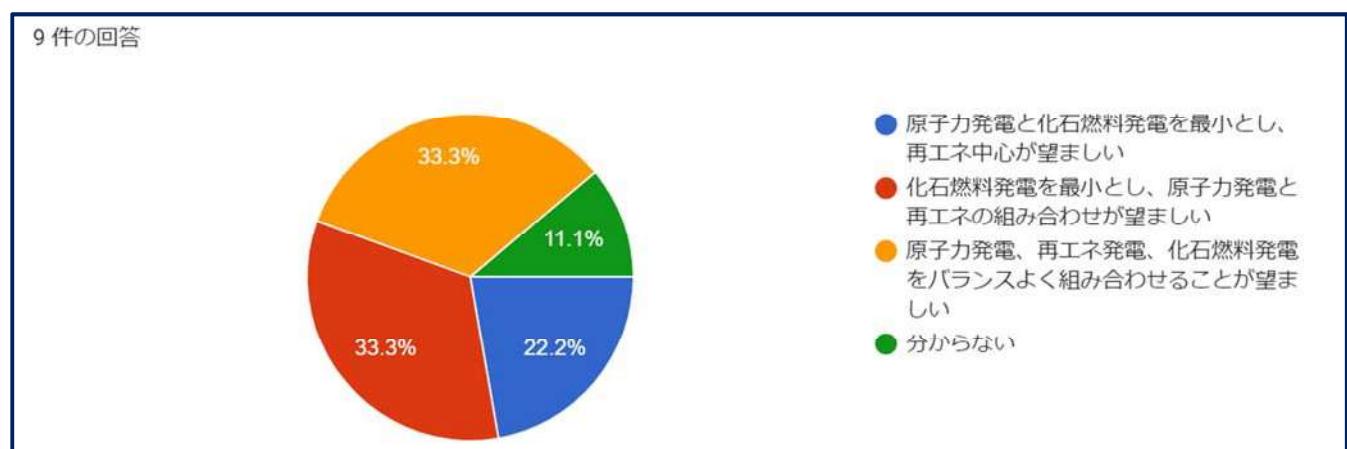
9 件の回答



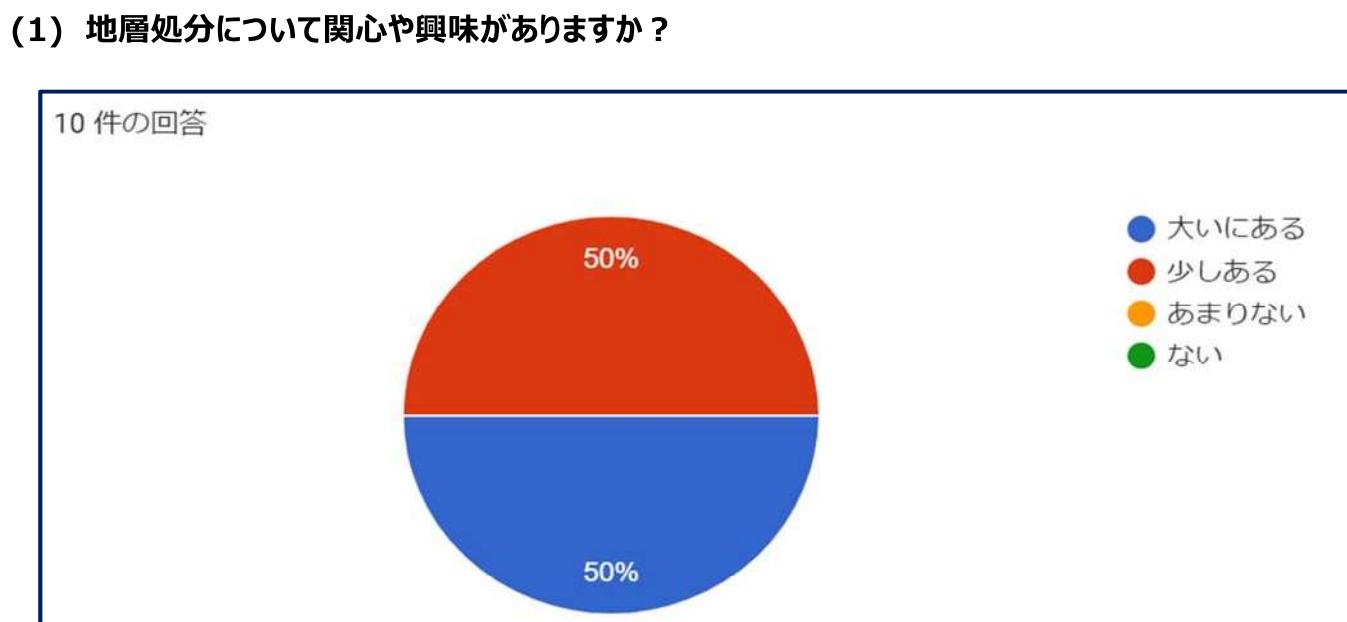
(3) 日本の2050年脱炭素化社会の実現可能性についての見解を伺います。



(4) 脱炭素に向けた電源の在り方について伺います。

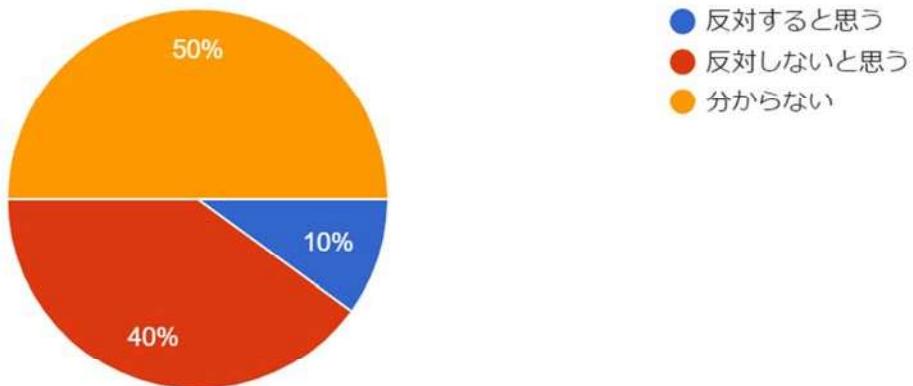


4. 高レベル放射性廃棄物の最終処分について伺います。あなたの考えに近い項目をチェックしてください。



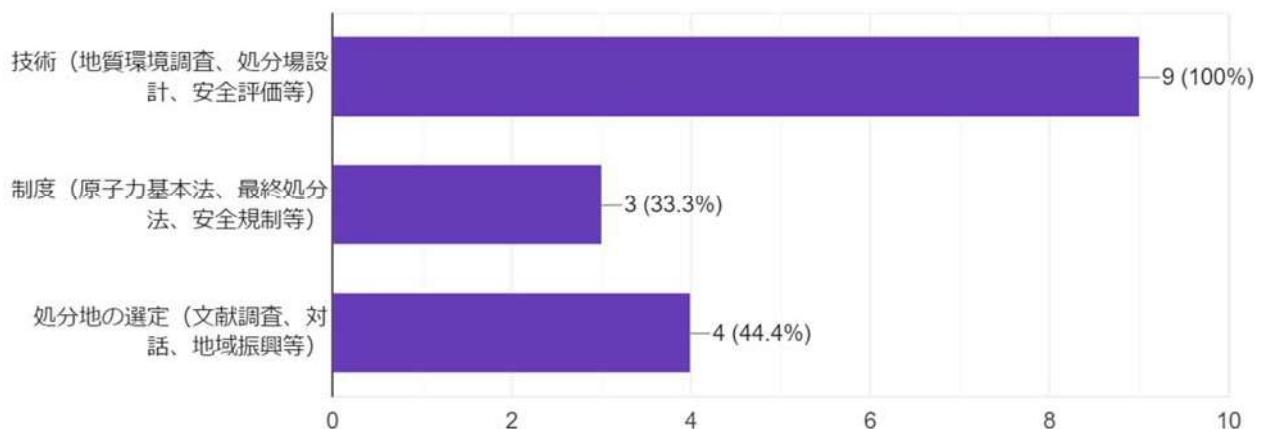
(2) あなたの住む地域や周辺地域で地層処分場の計画が起きたらどうしますか？

10件の回答



(3) 地層処分について興味や関心があるのはどの項目でしょうか？（複数回答可）

9件の回答



本企画を通して全体の感想・意見などあれば自由に記載ください

- ・ 普段聞けない話でとても参考になりました。ありがとうございました。
- ・ とくになし
- ・ 1F の廃炉に関しては知る機会があるが、通常炉の廃止措置については普段あまり触れないの
で、貴重な経験となった。ありがとうございました。
- ・ 普段聞けないようなお話を聞け、自分の将来について考えることが出来ました。ありがとうございました。

以上